

[前のページへ](#)[次のページへ](#)

■ 8 . 兵庫県南部地震のゆれのシミュレーション

< 動画 : (作成 太田誠志氏) >

サイズは大小二種類あります。自分のコンピュータ環境を考えて見やすい方で見てください。

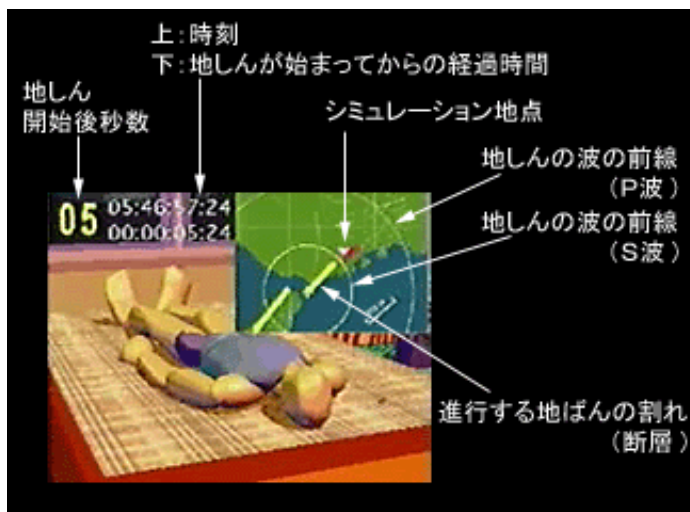


[大 : 640 × 480 , 11.5MB](#)



[小 : 320 × 240 , 2.1MB](#)

< 画面の説明 >



地震のゆれを、地震計の記録からコンピュータで再現してみました。

ゆれはじめる少し前から、ゆれはじめて15秒までを再現しています。画面の説明は左の通りです。

下には動画のみどころの解説をしています。

< ビデオの解説 (みどころ) >

ビデオをスタートさせたら、窓の外を見てください。空が光ります。地ばんが割れて光が出たのです。

最初に、黄色で示された部分の地ばんが、2カ所同時に割れはじめます。割れはじめたところが震源です。

同時に、割れはじめたところから、黄色の線で示された地震の波(地震波：じしんは)が、円状に広がっていきます。最初に広がるのがP波(ピーは)、少し遅れて広がっていくのがS波(エスは)です。S波が大きなゆれをもたらします。ですから、S波がシミュレーション地点に到着したときから、大きくゆれはじめることが分かります。

黄色の割れ目が広がっていく間に、続いて赤色で示した割れ目ができ、広がっていきます。同時にそこから赤色で示した地震波が広がっていきます。

さらに続いて水色で示した割れ目ができ、そこから水色で示した地震波が広がっていきます。

こうやって、次々と地震波がやってきて、複雑なゆれが生じています。

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)

[兵庫県南部地震データ集メニューにもどる](#)

神戸の大地のなりたちと自然の歴史 メニューへ